

2024年3月11日
政策・企画部作成

2024年3月29日
資料内一部修正

2023年度「卒業後の状況に関するアンケート調査」 結果報告

1. アンケート調査概要

	卒業生対象アンケート調査 (A)	卒業生の就職先企業・官公庁等対象のアンケート調査 (B)
調査趣旨	キャリアを含む現在の状況および教育をはじめとする本学での学生生活で、身についたと感じる能力等について調査する。	本学卒業生の現状や、卒業生に在学時に取り組んでおいてほしいこと等について調査する。
対象者	2013年度卒業生(卒業後10年目)	卒業生の就職先企業9社の人事担当者
実施期間	2023年7月1日～2023年9月30日	2023年8月下旬～2023年9月30日
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・大学WEBサイト上でのオンラインアンケート調査(Googleフォーム) <※1> →ダイレクトメール及び大学ウェブサイト・公式SNSを用いた周知 →卒業生の就職先企業9社に対して、本学卒業生社員へ周知協力を依頼 <p><※1>学生番号は取得しないため、回答者の在籍照合は行わない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の就職先企業9社<※2>にオンラインアンケート調査回答を依頼(Googleフォームを使用) <p><※2>依頼先企業9社内訳 金融・保険(2), 不動産(1), 物流(1), サービス(1), 電機・精密機器(1) 資源・素材(1), IT(1), 小売・卸(1)</p>
調査項目 <※3>	<ul style="list-style-type: none"> ① プロフィール (年齢・性別・居住地・卒業学部・入試区分) ② 本学での学びについて (身についた能力・学生時代に取り組んだこと・その他意見 等) ③ 現在の状況について (生活や仕事の満足度・就労形態・業種・職種・年収・社会で役立つ能力 等) <p><※3>各調査の設問・選択肢一覧は巻末を参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 本学卒業生に対する評価(印象) ② 本学在学学生への期待(学生のうちに特に経験・習得しておくべきこと)
有効回答数	410名	9社

<A-1> 調査設問・選択肢一覧

設問番号	設問概要	設問文	選択肢
1	年齢	あなたの年齢を選択してください。(2023年1月1日現在)	1 30代 2 40代 3 50代 4 その他
2	性別	あなたの性別について当てはまるものを選択してください。	1 男性 2 女性 3 回答しない
3	居住地	現在の居住地を選択してください。	47都道府県 + 海外
4	卒業学部	あなたが卒業した学部を選択してください。	1 文学部 2 文学部第二部 3 経済学部 4 経済学部第二部 5 法学部 6 経営学部 7 経営学部第二部 8 理工学部 9 国際政治経済学部 10 総合文化政策学部 11 社会情報学部 12 教育人間科学部
5	入試区分	あなたが入学した入試区分を一つだけ選択してください。	1 一般 2 センター利用 3 指定校推薦 4 自己推薦 5 スポーツ推薦 6 青山学院高等部から進学 7 その他(覚えていない場合も含む)
6	身についた能力	それぞれの能力について、在学中にどの程度身についたと思いますか。各項目を4段階評価で回答してください。 ①十分な知識・技能 ⑤主体性 ②答えが一つに定まらない問題に 自ら解を見いだしていく思考力 ⑥多様な人々と協働する力 ③状況に応じた対応ができる判断力 ⑦学びへの意欲 ④自分の考えを的確に伝えられる表現力	1 とても身についた 2 まあ身についた 3 あまり身につかなかった 4 全く身につかなかった
7	学生時代に取り組んだこと	あなたが学生時代に力を入れて取り組んだことを選択してください。(2つまで選択)	1 青山スタンダード科目 2 外国語科目(英語) 3 外国語科目(英語以外) 4 学部学科専門科目(1・2年次) 5 学部学科専門科目(3・4年次) 6 ゼミ等演習科目 7 情報系科目(ITスキル等) 8 課外活動 9 留学 10 その他 11 特になし
8	学生時代に取り組んだこと	「その他」と回答した方にお伺いします。「その他」の内容を具体的に記入してください。	自由
9	取り組みがよかったこと	あなたが学生時代にもっと取り組みがよかったと思うことを選択してください。(2つまで選択)	1 青山スタンダード科目 2 外国語科目(英語) 3 外国語科目(英語以外) 4 学部学科専門科目(1・2年次) 5 学部学科専門科目(3・4年次) 6 ゼミ等演習科目 7 情報系科目(ITスキル等) 8 課外活動 9 留学 10 その他 11 特になし
10	取り組みがよかったこと	「その他」と回答した方にお伺いします。「その他」の内容を具体的に記入してください。	自由

〈A-1〉 調査設問・選択肢一覧

設問番号	設問概要	設問文	選択肢
11	意見	教育内容についてご意見があればお聞かせください。(自由記述)	自由
12	意見	学生生活についてご意見があればお聞かせください。(自由記述)	自由
13	意見	学内施設についてご意見があればお聞かせください。(自由記述)	自由
14	意見	学校運営についてご意見があればお聞かせください。(自由記述)	自由
15	意見	その他にご意見があればお聞かせください。(自由記述)	自由
16	生活の満足度	現在の生活の満足度として当てはまるものを選択してください。	1 とても満足している 2 やや満足している 3 やや不満である 4 とても不満である
17	現状	現在の状況として当てはまるものを選択してください。	1 企業・自治体・団体・学校等に勤務(被雇用者) 2 議会議員 3 雇用主・事業主 4 専業主婦・専業主夫 5 学生 6 資格取得中 7 海外留学・海外渡航準備中 8 その他
18	就業形態	現在の就業形態について当てはまるものを選択してください。	1 正規の従業員(正社員・職員・常勤の教員等含む) 2 嘱託・派遣・契約社員、任期付き・臨時職員、パート・アルバイト・フリーター
19	業種	現在の勤務先の業種について当てはまるものを選択してください。	1 民間企業や非営利団体に勤務 2 公務員として勤務 ※国公立の教員除く 3 教員として勤務(公立・私立/幼稚園～大学等 ※保育園の場合は「民間企業や非営利団体に勤務」を選択してください)
20	業種	民間企業に勤務されている方や起業した方にお伺いします。 現在の勤務先の業界について当てはまるものを選択してください。	1 農業・林業・水産・鉱業 2 建設業 3 製造業 4 卸売・小売業 5 金融・保険業 6 不動産業 7 運輸・倉庫業 8 マスコミ業 9 情報通信・ソフトウェアサービス業 10 サービス業 (飲食、宿泊、観光業、娯楽、生活関連サービス等) 11 その他のサービス業 (コンサルティング、法務・会計等に関するサービス) 12 医療・福祉関連業 13 公社・団体(非営利団体、学校法人等) 14 教育・学習支援(教育関連企業、塾講師等) 15 その他

<A-1> 調査設問・選択肢一覧

設問番号	設問概要	設問文	選択肢
21	職種	現在の職種について当てはまるものを選択してください。	1 営業 2 事務・管理系 3 企画・マーケティング・経営・管理職 4 サービス・販売・外食 5 Web・インターネット・ゲーム 6 クリエイティブ（メディア・アパレル・デザイン） 7 専門職（コンサルタント・士業・金融・不動産） 8 ITエンジニア（システム開発・SE・インフラ） 9 エンジニア（機械・電気・電子・半導体・制御） 10 素材・化学・食品・医薬品技術職 11 建築・土木技術職 12 技能工・設備・交通・運輸 13 医療・福祉・介護 14 教育・保育 15 会社役員（CEO、会社社長、会社取締役、会社監査役、会社執行役など） 16 その他
22	採用区分	公務員として勤務されている方にお伺いします。 採用された区分について当てはまるものを選択してください。	1 国家総合職 2 国家一般職 3 国家専門職 4 地方公務員 5 その他
23	勤務校	教員として勤務されている方にお伺いします。 現在の勤務先について当てはまるものを選択してください。	1 幼稚園・こども園 2 小学校 3 中学校 4 高等学校 5 中高一貫校 6 高等専門学校 7 大学 8 その他
24	転職経験の有無	転職経験についてお伺いします。 当てはまるものを選択してください。（任意）	1 新卒で入社・入職した就職先で勤務している 2 新卒で入社・入職した就職先からは転職している 3 その他（起業や既卒で就職した等）
25	仕事の満足度	現在の仕事の満足度として当てはまるものを選択してください。	1 とても満足している 2 やや満足している 3 やや不満である 4 とても不満である
26	社会に出てから役だった能力	それぞれの能力について卒業後に社会人になってから役に立ったと感じますか？各項目を4段階評価で回答してください。 ・答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力等の能力 ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲・関心・態度	1 とても役に立った 2 まあ役に立った 3 あまり役に立たなかった 4 全く役に立たなかった
27	学び直しへの興味関心	近年、学校教育から離れた後も、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくことが重要視されています。このための学びは「リカレント教育」と呼ばれており、希望者は政府から支援を受けることができます。あなたのリカレント教育への興味関心について当てはまるものを選択してください。	1 リカレント教育に興味があり、リカレント教育を受けている/受けた経験がある 2 リカレント教育に興味はあるが、リカレント教育を受けていない 3 リカレント教育に興味がない 4 その他（リカレント教育について知らなかった場合含む）
28	年収	差し支えない範囲で、あなたの現在の年収について、最も当てはまるものを選択してください。	1 300万円以下 2 301～400万円 3 401～500万円 4 501～600万円 5 601～700万円 6 701～800万円 7 801～900万円 8 901～1,000万円 9 1,001～1,500万円 10 1,501万円以上 11 わからない・答えたくない
29	アンケート回答のきっかけ	このアンケートを知ったきっかけを教えてください。	1 大学ウェブサイト、SNSから 2 大学から送られてきたハガキから 3 所属している企業の方からのご案内 4 その他・覚えていない

<B-1> 調査設問・選択肢一覧

設問番号	調査項目	回答区分	設問文	選択肢番号	選択肢
1	卒業生 に対する 評価	必須 マトリクス	貴社に入社した本学の卒業生に抱く印象として、もっとも当てはまるものを選択してください。 ①十分な知識・技能 ②答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力 ③状況に応じた対応ができる判断力 ④自分の考えを的確に伝えられる表現力 ⑤主体性 ⑥多様な人々と協働する力 ⑦学びへの意欲	1	優れている
				2	やや優れている
				3	どちらともいえない
				4	やや劣っている
				5	劣っている
2-A	在校生 への期待	必須 複数	本学の学生に望む「学生のうちに特に経験・習得しておくべきこと」はどのようなものですか。当てはまるものを2つまで選択してください。	1	教養科目
				2	外国語科目（英語）
				3	外国語科目（英語以外）
				4	専門科目
				5	ゼミ等演習科目
				6	情報系科目（ITスキル等）
				7	課外活動（部活動・サークル活動、アルバイト、インターンシップ、ボランティアなど）
				8	留学
				9	その他
				10	特になし
2-B	在校生 への期待	任意	設問2で「その他」と回答した方にお伺いします。「その他」の内容を具体的に記入してください。	1	自由記述
3	在校生 への期待	必須	設問2の回答を選択した理由をご記入ください。	1	自由記述

2. 「卒業生対象アンケート調査」結果概要

2-1. 回答者属性 <① 卒業学部・性別・入試区分>

Q04 卒業学部	Q02 性別	1.一般	2.センター利用	3.指定校推薦	4.自己推薦	5.スポーツ推薦	6.青山学院高等部から進学	7.その他(覚えていない場合も含む)	総計
1.文学部	1.男性	17		2					19
	2.女性	31	5	7			3	5	51
	3.回答しない	1							1
2.文学部第二部	1.男性	3			2			1	6
	2.女性	2			1			1	4
3.教育人間科学部	1.男性	12		1			1		14
	2.女性	11	1	3			2	1	18
4.経済学部	1.男性	29	7					2	38
	2.女性	7	1	1					9
	3.回答しない	1							1
5.経済学部第二部	1.男性	1							1
6.法学部	1.男性	21	6	3			4	1	35
	2.女性	13	2	2			3		20
7.経営学部	1.男性	23	2	2		1	8		36
	2.女性	10		4		1	7	1	23
8.国際政治経済学部	1.男性	13	3				1	1	18
	2.女性	14	2				6		22
9.総合文化政策学部	1.男性	4	1						5
	2.女性	11		2			2		15
10.理工学部	1.男性	37	5	6					48
	2.女性	4		4			1	1	10
	3.回答しない	1							1
11.社会情報学部	1.男性	4	2	3		2			11
	2.女性	3						1	4
総計		273	37	40	3	4	38	15	410

・回答者全体における性別ごとの回答者数は以下のとおり。

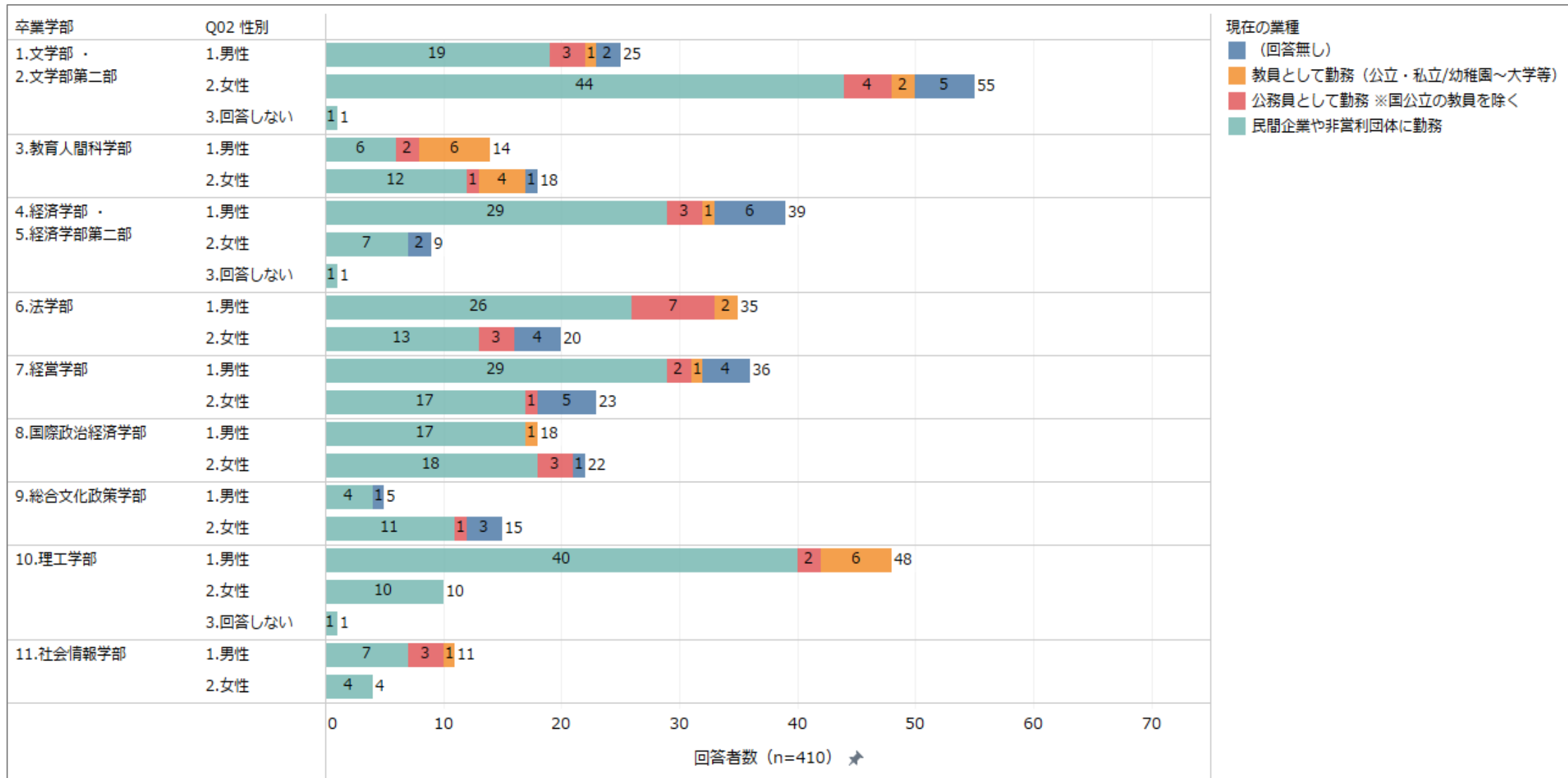
男性 231名 (約56%)
 女性 176名 (約43%)
 回答しない 3名 (約0.7%)

・回答者の年齢層は、約97%(398名)が30代。

(補足)

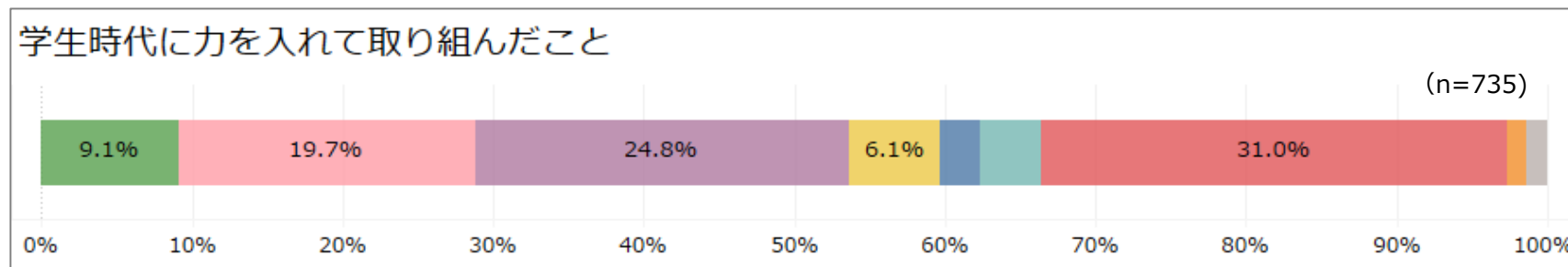
・次項より「文学部第二部」は「文学部」と、「経済学部第二部」は「経済学部」と合算して集計。

2-1. 回答者属性 < ② 卒業学部・性別・業種 >

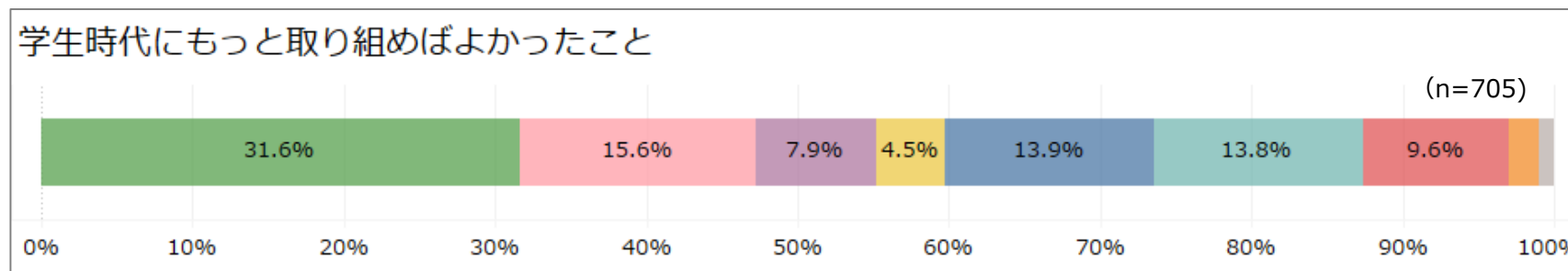


2-2. 「学生時代に力を入れて取り組んだこと」「学生時代にもっと取り組めばよかったこと」

(両項目とも、2つまで選択可)



・1位: 課外活動、2位: 演習科目が半数を占める



・1位: 外国語科目、2位: 専門科目が約半数を占める

- 内容
- その他
 - 特になし
 - 課外活動
 - 留学
 - 情報系科目 (ITスキル等)
 - 青山スタンダード科目
 - 演習科目 (ゼミ等)
 - 専門科目
 - 外国語科目

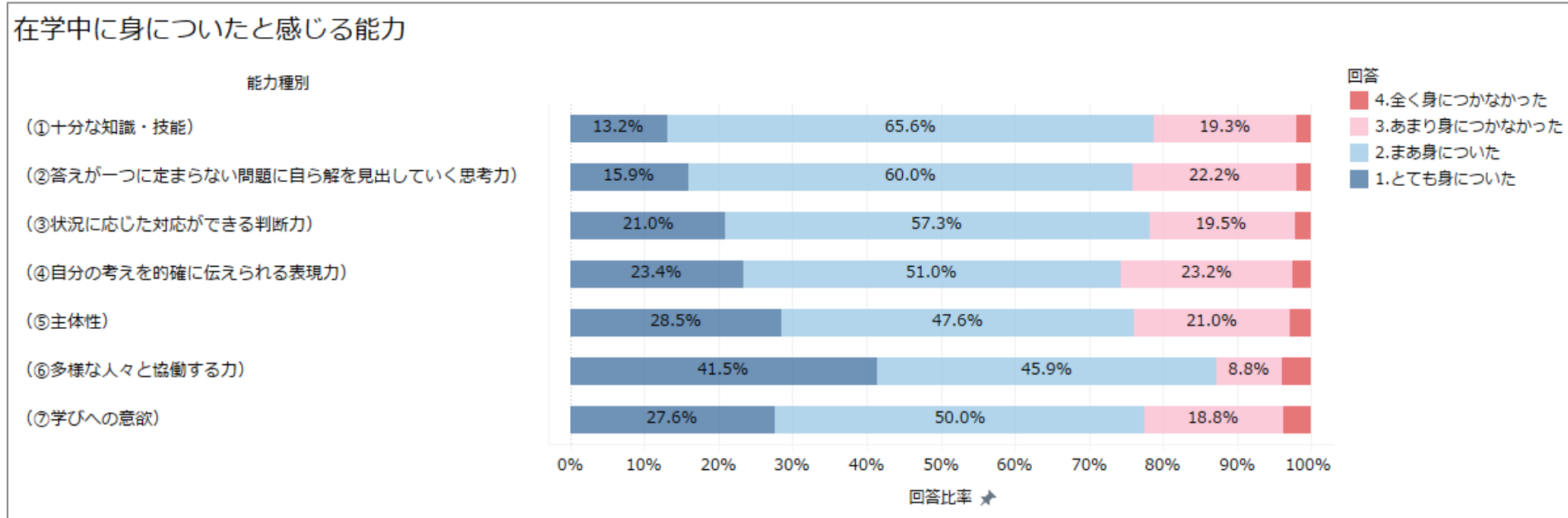
※「外国語科目」は、以下の回答を合算して集計

- ・外国語科目 (英語)
- ・外国語科目 (英語以外)

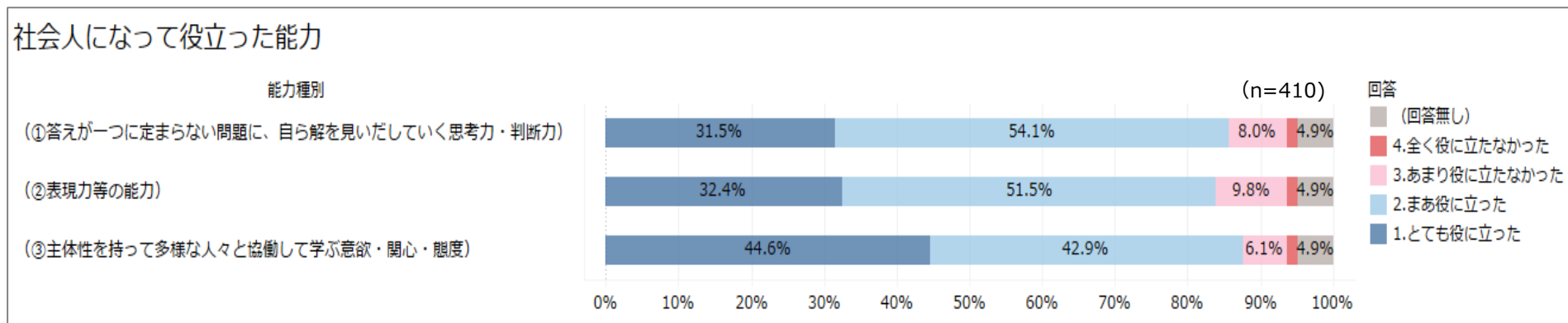
※「専門科目」は、以下の回答を合算して集計

- ・学部学科専門科目 (1・2年次)
- ・学部学科専門科目 (3・4年次)

2-3. 「在学中に身についたと感じる能力」と「社会人になって役立った能力」



・ほとんどの項目で肯定回答が約80%であったが、「④自分の考えを的確に伝えられる表現力」のみ否定回答が約75%だった。



・いずれの項目でも、回答数の約85%が肯定回答(とても役に立った / 役に立った)だった。

・ただし「②表現力等の能力」の否定回答(あまり役に立たなかった / まったく役に立たなかった)が約11%と、他に比べ若干多かった。

3. 卒業生の就職先企業・官公庁等対象のアンケート調査

3-1. 回答企業(9社)

- 金融・保険 (2)
- 不動産 (1)
- 物流 (1)
- サービス (1)
- 電機・精密機器 (1)
- 資源・素材 (1)
- IT (1)
- 小売・卸 (1)

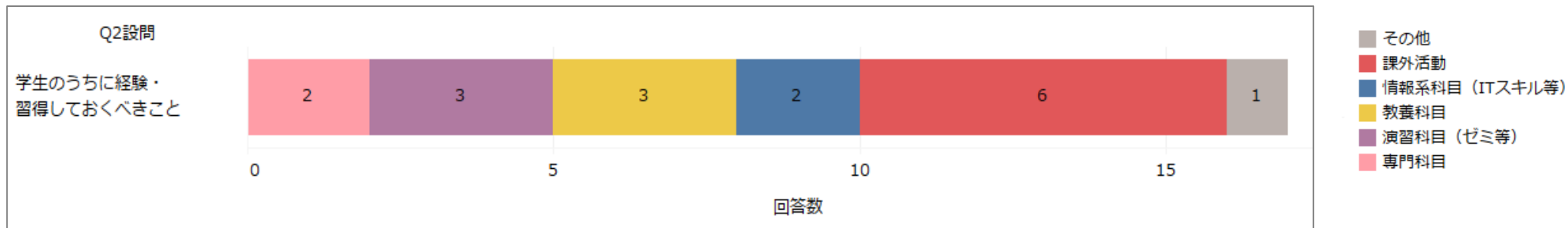
3-2. 入社した本学卒業生に抱く印象



- ・いずれの項目においても、否定的な回答(やや劣っている、劣っている)は無く(5段階評価)、本学卒業生に対する印象は概ね良い。
- ・特に「多様な人々と協力する力」は、「優れている」という回答が多かった。

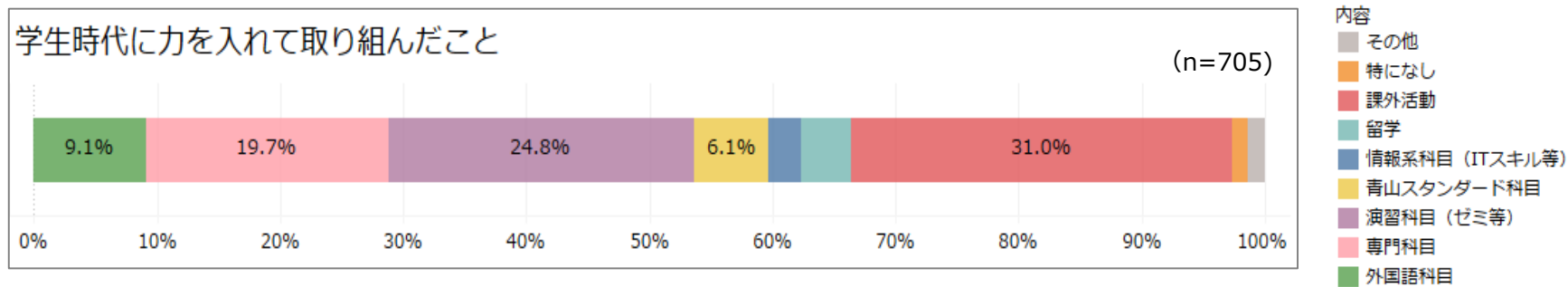
3-3. 学生のうちに特に経験・習得しておくべきこと（2つまで選択可）

(n=17)



・課外活動、演習科目の順に選択されており、卒業生を対象とした「学生時代に力を入れて取り組んだこと」と合致している。

※参考「2-2.卒業生対象アンケート調査」(p.6)より引用



3-4. 学生のうちに特に経験・習得しておくべきこと(3-3)における回答理由

回答企業	学生のうちに特に経験・習得しておくべきこと			回答理由
	回答1	回答2	回答3	
1	専門科目	課外活動 (部活動・サークル活動、アルバイト、インターンシップ、ボランティアなど)		専攻科目への深い見識を獲得しておくことは、違う物事への探求へも活用出来ると考えるため。課外活動を通じた学生時特有の経験は、人間的な成長を促すため。
2	ゼミ等演習科目	情報系科目 (ITスキル等)		ゼミ等演習科目を通して学業において何かしらの専門性を持っている学生は、探求心や好奇心があると感じるため。情報系科目に関しては、資料作成等新入社員で任せられる業務で比較的多くエクセルやパワーポイントを利用するため。
3	教養科目	課外活動 (部活動・サークル活動、アルバイト、インターンシップ、ボランティアなど)		組織の一員として働く上で最低限の知識習得が可能
4	教養科目	専門科目		貴校のご卒業生はととてもバランスに優れていらっしゃるためです。
5	ゼミ等演習科目	情報系科目 (ITスキル等)	課外活動 (部活動・サークル活動、アルバイト、インターンシップ、ボランティアなど)	ゼミや演習等を通し、深い教養や知識を得られ、さらに協調性もある方がご入社いただき、ご活躍されている方が多くいらっしゃいます。
6	教養科目	課外活動 (部活動・サークル活動、アルバイト、インターンシップ、ボランティアなど)		学生時代に様々な考えに触れることが、卒業後の学びの基礎になると考えるため。
7	課外活動 (部活動・サークル活動、アルバイト、インターンシップ、ボランティアなど)			他者との交流、コミュニケーション、目的達成のための行動などを重視しています。よって就職に向けて、大学時代に勉強しておいたほうが良いものという明確な科目はないと考えております。今回は課外活動の欄にチェックをつけさせていただきましたが、学問も「なぜそれをやるのか、やりたいのか」「目的達成の為にどうすればいいのか」という経験は可能だと考えております。
8	ゼミ等演習科目	課外活動 (部活動・サークル活動、アルバイト、インターンシップ、ボランティアなど)		ゼミ等で自ら興味を持ったテーマを追求する経験が業務への取り組みにも役に立つため。課外活動では様々な人とのコミュニケーションや社会を広く体験してほしい。
9	その他(様々な学び・経験が入社後に活けると考えるため、当社からの推奨は特段ございません。強いて申し上げますとすれば、複数領域を経験されている方が最近が多いと感じます。)			現在の日本の就職活動における面接においては経験やその中での学び・成長を問われる事が多い中、複数領域で様々な経験をされている方とそうではない方では一般的に前者の方が評価が高いとされる傾向にあるため。